

## 2022・小学校低学年「つくしちゃんとおねえちゃん」

この本をえらんだりゆうは、だからです。

私には、兄 / 姉 / 弟 / 妹がいます。兄弟 / 姉妹がいません。だから、主人公のつくし / おねえちゃんのきもちが少しわかります / 共感できました / まったくわかりませんでした / すごくわかりました / うらやましいでした。

私はこの本を読んで  
ということに すごいなと思いました / 大変だなと思いました / 考えさせられました / うらやましいと思いました。

なぜなら、だからです。

もし私がおねえちゃんのかえでだったら、きっと（足が不自由で不便なこと）があったら、

私は、（感じること / 考えること / 今までの生活と変わること）  
だと思いました。

主人公のつくしは、そんなおねえちゃんのかえでといっしょに生活をしています。もし私がつくしなら、  
もっと助けてあげたい / おねえちゃんとからべられてイヤ / 見習わなくちゃいけないな だと思いました。

この本を読んで一番 感動した / おどろいた / かなしかった / うれしかった / わくわくした / すごいと思った  
場面は、です。

なぜなら、だからです。

この本をよむ前は、他の人より 不自由な部分 / ハンデキャップ / 障がいがあるって 不便なことがある /  
できないことが多い / 苦手なことがある / あきらめなくちゃいけないがある ことについて、  
だと思いました。

でもこの本を読んで、かえでの がんばる / 負けず嫌い / 努力する / かんたんにあきらめない 姿を見て、  
だと思いました。

だから、不自由な部分 / ハンデキャップ / 障がい がある人でも、大変 / かわいそう / 何もできないのではなく、  
がんばる人 / 努力している人 / 負けず嫌いな人 / 自分のとくいなことを活かしている人 / 生き生きとした人  
がいると思えるようになりました。この本を読んで、  
だと思いました / 考えられるようになりました。

これから つくし / かえで たちはもっとなかよくなる / わかりあえる / 助けあえる / 協力できる 関係になったら  
になったらいいなと思いました。そして私がかえでのような友だちができれば、  
したいと思いました。